

ワークシフトプレイス Season2-3・開催報告

■日 時：2013年12月23日(木) 10:30～16:30

■場 所：四谷地域センター 集会室4

■テーマ：問いを解決する対話を始めよう～ステップ3：本質発見～

■テーマ紹介：今回テーマ「本質発見」では、過去参加者で検討した4つの新しい働き方について、「本質は何か」「何がポイントなのか」 個々人の経験や知恵を持ち寄り、対話を重ねながらテーマの「そもそも論」について中身を掘り下げていきます。

■当日の流れ

1・アイスブレイク・自己紹介をしよう！



朝早くにお集まり頂き、頭もお目覚めではないかも…？ということで、気持ちをほぐし、頭のスイッチを「ON」にするため自己紹介からスタートです。

参加者ひとりひとりに、簡単な自己紹介と、「GOOD AND NEW(2-3日前に起こった、ちょっとHAPPYなエピソード)」を30秒間という短い時間で発表して頂きました♪

“30秒”という時間でコンパクトにまとめて発表して頂くことで、頭のスイッチを「ON」にし、思考できる頭の準備を整えていただきました！

2・ワークシフトプレイス (WSP) とは？

ここで、ワークシフトプレイスについて、何点かおさらいしましょう。

ポイント1・「問いの立て方」

個々人が抱えている問題を、問題解決へ導くポイント、それは「問いの立て方」です。

“どのように「問い」を立てたら相手の心に訴えることができるだろうか”、このような観点で「個々人の問題」を全体で話し合うことができる「良質な問い」に変えることで、問題解決の話し合いをスムーズに進めることが可能となります。

ポイント2・多様性

ワークシフトプレイスの特徴は、「業界、職種、セクターを超えた人々」と、フラットな関係性で話し合う「場」が担保されているということです。

多様性が担保された場に集まることで、色眼鏡をはずした対話ができ、新たなアイデアや、思いもつかなかった発想などが生まれます。

2・WORK・未来志向で対話をしよう



WSPの説明が終わった後は、「未来志向」で対話して頂くため、2人1組になっていただき、「2025年には、こんな働き方をしている！」というテーマで対話をして頂きました。

☆補足～未来志向とは？～

未来志向とは、今あるデータを基に未来を予測するのではなく、固定観念を取り払った上で、「あったらいいな、こんな未来♪」を自由に発想する思考法のことです。

ワークシフトプレイスでは、「あったらいいな、こんな未来♪」が既に存在していると仮定し、その未来に対して「今(2014年)、自分は何をすべきなのか」を考えていきます。

3・本質発見～チーム分け～

自己紹介で参加者同士の関係性を作り、WORKで未来志向の頭に切り替えて頂いたあとは、今回テーマ、「本質発見」がいよいよスタートです！

まず始めに、前回参加者で検討した、4つの「新しい働き方」のテーマを基にチーム分けを行いました。

☆4つの「新しい働き方」

- 1) 身体が喜ぶ、知的な新しい働き方
- 2) 中小企業の社長が喜ぶ新しい働き方で儲ける
- 3) 若い人が喜ぶ、ヒューマンな新しい働き方
- 4) Y世代(1980年ー1995年生まれ)が喜ぶ、ちょっと変わった新しい働き方

また、初めてご参加頂いた方には、下記の3つのポイントを踏まえ、話し合いたいテーマを選んで頂きました。

- 1) テーマに共感できる
- 2) わくわくする
- 3) 自分の知識、経験がテーマに役立つ(と思う)

4・本質発見②～セッション～



チーム分けを行った後は、最終的な目標を「テーマの削ぎ落せない“本質”を見つけ出す」と設定し、下記の4つのステップで、じっくりと対話を重ねながら、皆様の智恵や経験、アイデアを基に、テーマの深堀をおこないました。

- 1) テーマの認識を共有する
- 2) どのように話し合いを進めていくか、手法をチーム内で検討する(例・マインドマップ)
- 3) テーマの中で「深堀しておくべきポイント」を話し合う【40分】
- 4) 次回のプロトタイプ作りに向けて、絶対外せないポイントは何かを話し合う【60分】

セッション終了後は、それぞれのチームで話し合ったことを発表して頂き、参加者全体で、テーマの深堀ポイントや、プロトタイプ作りに欠かせないポイントのシェアをしました。

身体が喜ぶ、知的な新しい働き方



1) 手法

KJ法、プレスト、セル型

2) 深堀ポイント

☆知的ないイメージとは？

・美人過ぎるヨガインストラクター/スタジオジブリの鈴木プロデューサー(通勤経路を毎回変えている)/キャリアウーマン等

☆そもそも『身体が喜ぶ』と『知的』はどう繋がっているのか？

- ・向上心を持って活動すると、身体(脳、身体)も喜んでいる。
- ・身体が喜んでいる状態とは、仕事の時間とオフの時間の「バランス」がとれていること。

☆バランスに必要な要素とは？

- ・稼ぐ力…一番のキーポイント。稼げなければ意味がない
- ・人間力…その「人」の魅力。人間力がなければ稼げない。
- ・オフ力…仕事とプライベートのバランス力。ON、OFFの切り替えができる人は今後強い！
- ・感性力…遊ぶ気持ちや感覚をもてる
- ・身体力…健康を自己管理できる力

3) プロトタイプ作りに外せないポイント

バランスの5つの要素(稼ぐ力、人間力、オフ力、感性、身体力)を高めていくためのプロトタイプをつくる。

中小企業の社長が喜ぶ、儲かるけど新しい働き方



1) 手法

マインドマップ

2) 深堀ポイント

☆イケてる経営者、イケてない経営者とは…?

☆イケてる経営者のポイント

- ・「こうゆう会社になりたい」というビジョンを設定する
- ・「こうゆう会社になりたい」というビジョンを自分自身で発信する
- ・情報を得るために、違いを受け入れられる状態をつくる
- ・具体的な方法論を発信でき、実現出来る
- ・人材育成のため、スキルやモチベーションをコントロールする環境を整える
- ・こだわりとリスクマネジメントの両立

☆10年後のためにやらなきゃならないこと

- ・志ある共同体づくり・適材適所・異業種を学ぶ・ノンアセット化

3) プロトタイプ作りに外せないポイント

新しい働き方×FC=利益

若い人が喜び、ヒューマンな働き方



1) 手法

マインドマップ

2) 深堀ポイント

☆「若い人が喜び」は誰から見た視点なのか?

- ・上の世代(親父さん世代)のひとが、イキイキしていないと思っている
- ・若い人は、イキイキ働くことに対してブロックを持っている

☆若い人、親父さん世代の「新しい働き方」のGAPとは?

- ・素晴らしい働き方をしたい思いは共通(=GAPはない)しているが、
世代間コミュニケーションが少なく、お互いの考えていることがわかっていない状態なのでは…?

☆若い人、親父さん世代の「目標としていること」のGAPとは?

- ・若い人が大切にしている価値は、「感情価値(自分らしさの追及、わくわくどきどきする体験がしたい等)」

- ・親父さん世代は、「経済価値」を追求してきたが成熟してしまい、目指すべき働き方がみつからない状態
- ・親父さん世代は、今の働き方に生きづらさや、問題点にぶつかっている

☆そもそも全ての人々が住みよい社会とは？

3) プロトタイプ作りに外せないポイント

棚おろし…みんなが本当は何がしたいのか「棚おろし」する。

新しい社会やよりよい生き方を目指す前に、先人たちの生きるための智慧の中から、何を後世に残すかを「棚おろし」する

Y世代(1980年ー1995年生まれ)が喜ぶ、ちょっと変わった働き方



1) 手法

マインドマップ

2) 深堀ポイント

☆ちょっと変わったということは、Y世代にとって何が「普通」なのか…？

- ・Y世代の価値観とは？…自分に不利な発言は控える、服装が似通っている、就職活動に親が参加する等
- ・Y世代は「ゲーム世代」…ゴールを意識する。時間内に最高のアウトプットをしようとするが、X世代は、話が盛り上がったら、そのままいいと思う
→このGAPが仕事の上でも支障をきたす。

☆そもそも仕事に飽きてしまうのがなぜ…？

- ・新鮮味が足りない。(キッザニアでは、こどもが楽しく働いている！)

3) プロトタイプ作りに外せないポイント

「ゲーム世代」と「新鮮味」をポイントとし、仕事に新鮮味をプラスすることで、「ちょっと変わった」新しい働き方につながる。

5・クロージング～WISH～



クロージングでは、ドイツ由来の「WISH(思いの共有に使う手法)」からヒントを得た方法で、気づきのシェアをしました。

まずはクリスマスも近かったため、大きなツリーの絵を用意。
ポストイットの上にオーナメントのイラストと、一日の中で「気づいたこと」を書いていただき、
ひとりひとりに「ツリーに飾り付け」をするように貼って頂きました。

このように、全員で個々人の「気づき」や「思い」を共有することで、次回へ繋がる原動力になるのです！

次回は、今回話し合った内容を基に、「2025年に達成できている」そんなプロトタイプを作っていきます！

ビジョンマインドマップや、ビジネスモデルジェネレーションという手法を用いて、
自分の人生に取り込むことができる…そんなプロトタイプを作っていきますので、次回もお楽しみに！